

# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.16

**1** 日本文の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

(1) 伸二はコンピューターをこわしてしまいました。  
(his, has, Shinji, computer, broken).

---

(2) 今は8時30分です。しかし、その電車はまだ到着していません。  
It is 8:30, but (yet, the, hasn't, train, arrived).  
It is 8:30, but \_\_\_\_\_.

(3) あなたは公園で何をなくしたのですか。  
(have, the, lost, park, you, in, what)?

---

**2** 次の文に( )内の語を入れて全文を書きなさい。また、それぞれを日本語になおしなさい。

(1) My uncle has got to the bus stop. (just)

[英 文] \_\_\_\_\_  
[日本文] ( )

(2) Kimiko has made a cake. (already)

[英 文] \_\_\_\_\_  
[日本文] ( )

(3) I haven't read the letter from him. (yet)

[英 文] \_\_\_\_\_  
[日本文] ( )

**3** 次の文を( )内の語数で英語になおしなさい。

(1) マイクはちょうど昼食を食べたところです。(5語)

---

(2) あなたはもうその本を読んでしまいましたか。(6語)

---

(3) 私はまだ彼女に会っていません。(5語)

---

## HELP



**1** (2) **yet** (まだ) は文の終わりに置く。(3) **「疑問詞 + have [has] + 主語 + 過去分詞 ~ ?」**

**2** (1) bus stop 「バスの停留所」 **just** (ちょうど), **already** (もう) は have [has] と過去分詞の間に入れる。

**3** (2) 疑問文だから、already は使わない。(3) **「have [has] not + 過去分詞 ~ yet」** の語順。

# 15

## 現在完了と副詞



### 問題にチャレンジ

- 1 Have you ever **been** to China?  
 ア I **have read** this book many times.  
 イ He **has** already **gone** to America.  
 ウ How long **have** you **lived** in the house?
- 2 I **have known** Mr. Sakai ( ).  
 ア a year ago      イ last year  
 ウ since last year

問 現在完了の用法が同じものをア～ウから選べ。 → 1

問 ( )内に入る適当なものをア～ウから選べ。 → 2

### 1 副詞でわかる現在完了の用法

現在完了には4つの用法があるが、「結果」は「完了」と区別しにくいので「完了」にふくめると、「継続」「経験」「完了」の3つの用法になる。この3つのどの用法にあたるかを考えるのが基本だ。しかし、これでは時間がかかる。英文を見てすぐに用法と訳が頭にうかぶ方法がベストだね。その方法のカギが副詞(句)にある。3つの用法のそれぞれで使われる副詞(句)はたいてい決まっているので、副詞(句)を見れば、用法も訳もすぐわかる。

	現在完了の用法	副詞(句) *印の語は過去分詞の前に入る
継続	(ずっと)~している	<b>for</b> ~ (～間, ～の間) <b>since</b> ~ (～から, ～以来) <b>How long</b> ~ ? (どのくらい～か)
経験	~したことがある	<b>once</b> (1度, 1回) <b>twice</b> (2度, 2回) } (回数) ~ <b>times</b> (～度, ～回) ↳ How many times ~ ? (何度～か) * <b>ever</b> (今までに, かつて) ↳ 疑問文で * <b>never</b> (1度も～ない) * <b>often</b> (しばしば, よく) ↳ How often ~ ? (何度～か) <b>before</b> (以前に)
完了	~したところだ ~してしまった	* <b>just</b> (ちょうど), <b>now</b> (今) * <b>already</b> (もう), <b>yet</b> (もう, まだ) ↳ 肯定文で                      ↳ 疑問文・否定文で

### もっとくわしく

**once** は「1度, 1回」の他に「今までに, かつて」の意味がある。この意味の **once** の位置は **have** と過去分詞の間である。

I've **once** seen him.

(私は**今までに**彼と会ったことがある)

**ever** も「今までに, かつて」の意味だが、現在完了の文では**疑問文に使う**と覚えておこう。上の例文のような肯定文には **ever** は使わず、**once** を使うのだ。

### ここに注意

左の表の副詞(句)のうち、**since** はふつう現在完了の文に使われるが、それ以外には現在の文や過去の文にもよく使われる。



I **have just read** a book. → **just** → 完了

(私は **ちょうど** 本を読んだところだ)

She **has never been** there. → **never** → 経験

(彼女は **1度も** そこへ行ったことが **ない**)

They **have been** in Kyoto **since** 1988. → **since** → 継続

(彼らは1988年 **から** ずっと京都にいる)

**1の答** → ア→各文の副詞に着目する。問題文は **ever** があるので「経験」を表す現在完了の文で、意味は「あなたは今までに中国へ行ったことがありますか」。ア many times…「経験」(私はこの本を何度も読んだことがあります)、イ already…「完了」(彼はすでにアメリカへ行ってしまった)、ウ How long…「継続」(あなたはどのくらいこの家に住んでいますか)。

## 2 現在完了と仲の悪い副詞

過去のことを今[現在]につなげて言うのが現在完了だ。しかも今[現在]がどうなのかに重点を置いた表現なので、現在完了は「現在」の1種と考えてよいほどだ。たとえば、「完了」を表す現在完了の文では、ズバリ **now**(今)という副詞さえ使われる。現在完了は、今とは関係のない、過ぎ去ってしまったことを表す「過去」の文ではない。だから、現在完了の文では、明らかに「過去」を表す語句は使えない。

(×) I **have bought** this watch **yesterday**.

現在完了形 ← 時間がズレている → 過去

(○) I **bought** this watch **yesterday**.

過去形 ← 時間が一致している → 過去

(私はきのうこの時計を買った)

**yesterday**(きのう)は、明らかに「過去」なので、現在完了といっしょに使うことはできない。ただし、**since**のあとでは「過去」を表す語句を使ってもよい。これは、**since**(～から、～以来)には「過去の時点から現在まで」という意味がふくまれていて、「過去」を表す語句を「現在」とつなげてしまうからだ。

I **have been** with this watch **since yesterday**.

現在完了形 ← 現在につながる → 「から」 ← 過去

(私はきのうから(ずっと)この時計を身につけている)



現在完了の文 → 明らかな「過去」を表す語句は使えない



**yesterday, last ~, ~ ago** など

**2の答** → ウ→アは「1年前」、イは「昨年」と明らかに過去を表すから、ウが正解。(私は昨年酒井さんを知っている)の意味になる。

## 得点アップのコツ

現在完了の文では使えない副詞(句)をあげておこう。

**yesterday**(きのう)

**last ~**(この前の~, 昨~)

**~ ago**(~前に)

**just now**(たった今)

**When ~ ?**(いつ~か)

以上のほか、「時」を表す前置詞を使った **at ten**(10時に), **on Sunday**(日曜日), **in 1997**(1997年)なども使えない。

## Q&A

**Q** this morning(けさ)は現在完了の文に使えますか。

**A** もし午前中に「けさ」と言えば、今[現在]のことになりますから this morning は使えます。

**I've been** at school **this morning**.

(けさはずっと授業です)しかし、午後「けさ」と言うとは過去のことになりますから、現在完了の文には使えません。過去の文になります。

**I was** at school **this morning**.

(けさは授業でした)

他に **today**(きょう),

**this week**(今週),

**this month**(今月),

**this year**(今年)

なども現在完了に使えますが、使い方に注意しましょう。

# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.16

① 次の英文の下線部の意味を [ ] 内に書き、全文の意味を ( ) 内に書きなさい。

- (1) My father has just come home. [ ] ( )  
(2) I have already visited Nara. [ ] ( )  
(3) I haven't finished my homework yet. [ ] ( )  
(4) Have they ever used *futon*? [ ] ( )  
(5) She has seen pandas many times. [ ] ( )

② 次の文の ( ) から正しい語を選び、記号で答えなさい。

- (1) Have you (ア just イ already ウ ever エ never) seen snow?  
(2) I have lived in Nikko (ア by イ on ウ till エ since) 2008.  
(3) How (ア large イ many ウ about エ long) have you lived in Okinawa, Mr. White?  
(4) Mom has been busy (ア until イ for ウ since エ though) you left Japan.  
(5) I haven't seen you (ア for イ since ウ till エ just) a long time.

③ 日本語の意味を表すように、\_\_\_に適切な1語を入れなさい。

- (1) 彼はちょうど外出したところです。  
He has \_\_\_\_\_ gone out.  
(2) 私は2度キャシーに手紙を書いたことがあります。  
I have written to Kathy \_\_\_\_\_.  
(3) あなたはこれまでにその競技場へ行ったことがありますか。  
Have you \_\_\_\_\_ been to the stadium?  
(4) 私たちの電車はもう出発してしまっただ。  
Our train has \_\_\_\_\_ started.  
(5) 生徒たちはもう教室をそうじしてしまっただのですか。  
Have the students cleaned the classroom \_\_\_\_\_?

## HELP

① 下線部の副詞(句)から現在完了の用法を判断すればよい。  
(5) panda 「パンダ」

② (1) 「経験」をたずねている。  
(2) すぐあとにある2008に注目。「2008年から」となるように選ぶ。  
(3) 「期間」をたずねている。  
(4) 前半は「母は(ずっと)忙しい」、( )のあとは「あなたが日本を去って」だから、この2つをつなぐのは…?

### 単語

**snow** 雪  
**left** leave (去る)の過去形

③ (2) write to ~ 「~に手紙を書く」  
(3) have been to ~ 「~へ行ったことがある」

### 単語

**gone** [gɔ:(t)n ゴ(-)ン] go(行く)の過去分詞形  
**stadium** [stéidiəm ステイディアム] 競技場



# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.16

**1** 次の英文の内容について正しく述べた日本語を、1つずつ選びなさい。

- (1) Have you ever read an English book?  
ア ついこの前に読んだ本が英語の本かどうかをたずねる文。  
イ 以前に英語の本を読んだことがあるかどうかをたずねる文。
- (2) We have been good friends for three years.  
ア 「私たち」は今もよい友だちである。  
イ 「私たち」は3年間よい友だちだったが、今はどうかわからない。
- (3) Mr. Yamada has been to the airport.  
ア 山田さんは今その空港にいる。  
イ 山田さんはその空港に行ったことがある。  
ウ 山田さんはその空港に行ってしまった。

**2** 次の文のまちがいをなおし、全文を書きかえなさい。ただし、太字の部分は正しいものとする。

- (1) He lives in Brazil since **forty years**.  
\_\_\_\_\_
- (2) I have lost my new umbrella **yesterday**.  
\_\_\_\_\_
- (3) Do you **have** ever talked with him?  
\_\_\_\_\_
- (4) The train has arrived **just now**.  
\_\_\_\_\_

**3** 次の文を英語になおしなさい。

- (1) 「もう宿題はやったの」——「いや、まだだよ」  
\_\_\_\_\_
- (2) あなたはこれまでにその村へ行ったことがありますか。  
\_\_\_\_\_
- (3) 彼はきのうからずっと忙しい。  
\_\_\_\_\_

## HELP



- 1** (3)「完了」の用法では **have been to** ~は「~へ行ってもどってきた[往復した]ところだ」の意味。
- 2** (1) forty years (40年) は期間、(2) yesterday、(4) just now (たった今) は、過去を表す語句。
- 3** (2)「村」village (3) He is busy. を現在完了にすると？

# 定期テスト予想問題4

時間 20分  
解答 → 別冊 p.17

得点	/ 100
----	-------

1 次の文の下線部の意味を書きなさい。

〈18点 = 3点 × 6〉

- (1) She hasn't washed the dishes yet. ( )
- (2) Has Takuya finished his homework yet? ( )
- (3) I've never been abroad. ( )
- (4) I have seen a kangaroo once. ( )
- (5) My brother finished his breakfast just now. ( )
- (6) Have you ever been to Europe? ( )

2 次の文の( )から正しい語句を選び、記号で答えなさい。

〈16点 = 2点 × 8〉

- (1) Shingo has just (ア wrote イ written) the letter.
- (2) Every boy (ア have イ has) already eaten lunch.
- (3) He (ア is イ has been ウ was) in Kenya two years ago.
- (4) I have (ア just cleaned イ cleaned just) the garden.
- (5) When (ア have イ did ウ are) you read the book?
- (6) The dog (ア have イ has ウ is) liked by many people.
- (7) (ア Do イ Did ウ Have エ Are) you eaten breakfast?
- (8) I have never (ア see イ saw ウ seen エ seeing) such a large building.

3 次の文を日本語になおしなさい。

〈15点 = 5点 × 3〉

- (1) Bob has already gone to London.  
( )
- (2) I haven't finished the work yet.  
( )
- (3) How often has your father visited Tokyo?  
( )

4 日本文の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

〈15点 = 5点 × 3〉

- (1) 鍵はかぎをなくしてしまった。  
(his, has, key, Ken, lost).
- (2) ディズニーランドに行ったことがありますか。  
Have (to, ever, been, you, Disneyland)?  
Have \_\_\_\_\_?



(3) メアリーが日本に来てから10年以上になる。

Mary (in, for, been, more, has, Japan, than) ten years.

Mary \_\_\_\_\_ ten years.

5

各組の文が同じ内容を表すように、 \_\_\_\_\_ に適当な1語を入れなさい。

(12点=4点×3)

(1) { My friend was sick last week. He is still sick.  
My friend \_\_\_\_\_ sick \_\_\_\_\_ last week.

(2) { Kumi and I went to Hong Kong last month. We are now in Japan.  
Kumi and I \_\_\_\_\_ to Hong Kong.

(3) { I broke the window. There isn't glass there now.  
I \_\_\_\_\_ the window.

6

英語の授業で、自分自身について英語でスピーチをすることになりました。下のメモを参考に、自分自身について3つのことがらを現在完了形を使って述べなさい。(12点=4点×3)

- ・ピアノを5年間習っている。
- ・英語で手紙を書いたことがある。
- ・外国に行ったことがない。
- ・この町に10年間住んでいる。
- ・きのうのうペンをなくしてしまった。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

7

〈リスニング問題〉▶▶20 (1)と(2)それぞれの対話を聞いて、その内容についての質問に対する最も適当な答えを、ア～エの中から1つずつ選びなさい。(12点=6点×2)

- (1) ア They will leave Japan.  
イ They will visit Jim's Japanese friends.  
ウ They will go to Asakusa.  
エ They will watch a baseball game.



## 動詞の変身——不定詞・動名詞

### 困ったぞ！ 1つの文に動詞が2つ?!

「英文には必ず動詞がある」という約束があったね(⇒ p.4)。

たとえば、

I play baseball. (私は野球をする)

という英文の動詞は play(する)で、動詞は1つだ。

そこで、英文では「1つの文に動詞は1つ」と覚えておこう。

でも、1つの文で動詞を2つ使いたいときは、どうする？

「私は 野球を するのが 好きだ」

この日本語を英文で表そうとすると、play(する)と like(好きだ、好む)の2つの英語の動詞が必要だね。しかし、

I like play baseball.

なんて書いてはいけないのだ。英文では「1つの文に動詞は1つ」なのだ！

さあ、どうしよう？(これ、「動詞よう」のシャレ、わかる?)

### ここに注意!

「1つの文に動詞は1つ」のルールは、不定詞や動名詞を使いこなすのにたいへん役に立つ。もちろん、このルールは例外もあるが、覚えておいておくことのほうが多いのだ。



### 2つある動詞の一方に to か ing をつける

1つの文に動詞を2つ使いたいときには、2つのうちの一方の動詞を、動詞以外のものに変身させればいい。このとき、動詞の変身道具となるのが、to や ing なのだ。

× I like **play** baseball. ← 動詞が2つあるからダメ

↓ この play に to や ing をつけてみよう

○ I like **to play** baseball. ← play の前に to を置く

○ I like **playing** baseball. ← play に ing をつける

これらの to play や playing は「～すること」という意味で、**名詞の働き**をしていて、もう動詞ではない。どちらの文にも動詞は like だけで、「私は野球をするのが好きだ[することを好む]」という正しい英文になっている。

to play のように、動詞が to という道具を使って変身すると、**不定詞**というものになる。playing のように、動詞が ing を使って変身すると、**動名詞**というものになるのだ。to や ing はたいへん重要な道具だね。

### Q&A

Q 左の説明にある文、

I like to play ~.

I like playing ~.

は、どんな文のタイプにあてはまるのですか？

A 「1つの文に動詞は1つ」ですから、どちらの文も like (好きだ、好む) が**動詞(V)**です。そして to play, playing(すること)が名詞の働きをしていて、**目的語(O)**になっています。だから、どちらの文も、**[S + V + O]**です。



## 不定詞には3つの用法がある

不定詞は、動詞の前に to を置いたものだ。でも、動詞といっても、plays のように3単現の s をつけた形や、played のような過去形もある。  
3人称単数現在

いやいや、安心してほしい。不定詞では必ず**動詞の原形**を使うのだ。動詞 play の不定詞は to play 1つだけしかない。3単現の s や過去形のことを気にする必要はないのだ。理くつ抜きに、次の形を頭に叩きこんでおこう。

### 不定詞 = to + 動詞の原形

このように不定詞の形はカンタンだが、訳し方は3通りもある。つまり、不定詞には3つの用法があるのだ。

不定詞 <u>to read</u> の訳し方	① 「読むこと」	← 名詞的用法
	② 「読むために」	← 副詞的用法
	③ 「読むための」	← 形容詞的用法



## 動名詞は名詞の役目をする

動名詞は、動詞に ing をつけた形だ。もっとくわしく言うと、**動詞の原形に ing をつけた形だ**。これは、進行形をつくるときに使う動詞の ing 形とまったく同じだね。

でも、形はまったく同じでも、働きや意味がちがう。

(ア) Yuki is **playing** tennis.

動詞の現在分詞  
(由紀はテニスをしている)

(イ) Yuki likes **playing** tennis.

動名詞  
(由紀はテニスをするのが好きだ)

(ア)の進行形では、playing は is とともに動詞の働きをしていて、「している」という意味だ。しかし、(イ)の playing は、**名詞の働き**をしていて、「**すること**」という意味だ。

つまり、**動名詞**は「～すること」という意味を表し、**動詞からつくった名詞**だと言ってよい。

ちょっとつけたしておくで、(ア)の進行形に使っている playing は動詞の現在分詞だが、現在分詞は進行形以外にも使われて、形容詞の働きをする。これはあとで説明しよう(⇒ p.132)。

### 得点アップのコツ

**動詞の原形**とは、動詞のもとの形で、ふつう、3単現の s をつけない現在形と同じ形だ。だから、原形といえは、**s をつけない現在形**を使えばよい。

ただし、am, are, is などの be 動詞の原形は **be**、has の原形は **have**。

### ここに注意

不定詞には3つの訳し方(用法)があるが、このうちのどの訳し方をするかは、英文の中で訳してみて、はじめてわかるものだ。

### もっとくわしく

**不定詞**の名詞的用法と**動名詞**とは「～すること」という意味が同じで、**動名詞**と**現在分詞**は動詞の ing 形という形が同じだ。また、不定詞・動名詞・現在分詞はすべて動詞からつくられている。だから、この3つは兄弟のようなものだ。

	働き
<b>不定詞</b>	名詞 副詞 形容詞
<b>動名詞</b>	名詞
<b>現在分詞</b>	進行形の一部 形容詞

## 16

## 不定詞 (1)

## 問題にチャレンジ

- 1 play reads goes studied is  
する 読む 行く 勉強した です
- 2 (use, wanted, a computer, Ken, to).  
健はコンピューターを使いたかった。
- 3 I went to America **to see** my uncle.  
私はおじに会うためにアメリカへ行きました。

問 それぞれの動詞を不定詞にせよ。

→ 1

問 各語を並べかえて英文をつくれ。

→ 2

問 下線部の不定詞の用法を答えよ。

→ 4



## 1 不定詞のつくり方

動詞を不定詞にするには、**to** を動詞の原形の前に置けばよい。



3単現のsをつけない現在形と同じ  
ただし、be動詞の原形はbe

不定詞 = **to** + 動詞の原形

1の答 → to play, to read, to go, to study, to be

## 得点アップのコツ

不定詞は動詞ではないが、動詞からできているので、動詞のように、いくつかの語を伴うことが多い。

**to read** books

(本を読むこと)

**to play** the piano

(ピアノを弾くこと)

## 2 不定詞の名詞的用法

不定詞 (to + 動詞の原形) を「～すること」と訳するのが名詞的用法だ。  
文中で名詞の働きをするので、動詞の目的語となる。

- ① I like **books**. (私は本が好きだ)
- ② I like **to read books**. (私は本を読むことが好きだ)
- 主語 : 動詞 : 目的語 [名詞] (私は本を読むのが好きだ)

①の文では **books** が like の目的語になっている。この **books** のかわりに、不定詞 **to read books** を入れたのが②の文だ。つまり、②の文では **to read books** が名詞の働きをし、動詞 like の目的語になっている。この **like to ~** の文は、「～することが好きだ」、または「～するのが好きだ」と訳せばよい。

では、不定詞を別の動詞の目的語にした文も見よう。

## 必修文例

I **want to read** the book.

(私はその本を読むことを欲する → 私はその本を**読みたい**)

She **started to run**.

(彼女は走ることを始めた → 彼女は**走り始めた**)



## もっとくわしく

動詞 like を日本語の動詞に訳すと「好む」になる。

I like books.

(私は本を好む)

この訳し方では堅苦しいので、like を日本語の形容動詞「好きだ」に訳すと、「私は本が好きだ」となる。英語の動詞をいつも日本語の動詞に訳す必要はない。日本語らしく訳せばよいのだ。





### 名詞的用法の不定詞

「～すること」の意味を表す  
 動詞の**目的語**になり、**動詞の直後**  
 に来る

## 2の答 → Ken wanted to use a computer.

なお、名詞的用法の不定詞は、動詞の目的語になるほか、文の**主語**になったり**補語**になったりすることもある。

**To read books** is interesting.

主語

(本を読むことはおもしろい)

His work is **to make watches**.

補語

(彼の仕事は時計をつくることです)

## 3 不定詞の副詞的用法 (1) — 目的

不定詞が「～するために」と**目的の意味**を表すのが副詞的用法。副詞的用法の不定詞は文中で**副詞の働き**をして、**動詞を修飾**する。

① Eri **went** there **yesterday**.

(恵利は きのう そこへ行った)

② Eri **went** there **to swim**.

(恵利は 泳ぐために そこへ行った)

①の文では、yesterdayがwentを修飾している。同じように②の文でも、副詞の働きをする不定詞to swimが、動詞wentを修飾している。また、②の文からわかるように、動詞と不定詞の間にthereのような語(句)がわりこんでいる。

## 4 不定詞の副詞的用法 (2) — 原因・理由

副詞的用法の不定詞には、「～して」と**原因**や**理由**を表す用法もある。

I'm **glad to go** to France.

(私はフランスに 行くことができうれしい)

不定詞to goは前にある形容詞を修飾する副詞の働きをしている。



### 副詞的用法の不定詞

①「～するために」の意味 → **目的**  
 ②「～して」の意味 → **原因・理由**

## 3の答 → 副詞的用法 → to seeは「会うために」と訳す。

## 得点アップのコツ

動詞のあとに不定詞が来る形を、like to ~のように表すが、おもな「動詞+不定詞」の訳し方を覚えておこう。

want to ~ } ~したい  
 hope to ~ }  
 begin to ~ } ~し始める  
 start to ~ }  
 need to ~ } ~する必要がある  
 try to ~ } ~しようとする  
 would like to ~ }  
 (できれば)~したい  
 [want to ~のていねいな表現]

## もっとくわしく

副詞的用法の不定詞は、

**Why ~ ? (なぜ~か)**

と理由をたずねる疑問文に答えるとき使われることがある。

**Why do you go?**

(なぜ行くのですか)

**To see my mother.**

(母に会うためです)



凱旋門(パリ)

# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.18

① 例にならって、動詞を不定詞の形にかえなさい。

例 go → to go

- (1) study → \_\_\_\_\_ (2) write → \_\_\_\_\_  
 (3) runs → \_\_\_\_\_ (4) looks → \_\_\_\_\_  
 (5) has → \_\_\_\_\_ (6) helped → \_\_\_\_\_  
 (7) said → \_\_\_\_\_

② 次の文を下線部に注意して、日本語になおしなさい。

- (1) I like to play soccer.  
 ( ) )  
 (2) They began to study Chinese.  
 ( ) )  
 (3) We tried to clean the river.  
 ( ) )  
 (4) Masako went to the library to read books.  
 ( ) )  
 (5) Did you come to see me yesterday?  
 ( ) )  
 (6) I'm sorry to hear that.  
 ( ) )

③ 日本文の意味を表すよう、( )内の語数の語句を\_\_\_\_に入れなさい。

- (1) 私は弟を助ける必要がある。  
 I \_\_\_\_\_ my brother. (3語)  
 (2) フレッドは日本に住みたい。  
 Fred \_\_\_\_\_ in Japan. (3語)  
 (3) 私たちはテニスをするために公園へ行きます。  
 We go to \_\_\_\_\_ tennis. (4語)  
 (4) そのネコは私のいすの上で眠るのが好きでした。  
 The cat \_\_\_\_\_ on my chair. (3語)  
 (5) サキはシンガポールについて知るためにいくつか質問をした。  
 Saki \_\_\_\_\_ about Singapore. (5語)

## HELP

① 不定詞は「to + 動詞の原形」。③④には3単現のsがあること、⑤は原形ではないこと、⑥⑦は過去形であることに注意。

### 単語

said [sed セッド]  
say(言う)の過去形

② よく使われる不定詞の訳し方

like to ~  
 =「～するのが好きだ」  
 begin to ~  
 =「～し始める」  
 try to ~  
 =「～しようとする」

(1)~(3)は名詞的用法、(4)~(6)は副詞的用法の不定詞。

(3) clean「きれいにする」  
 (5) come [go] to see は「会いに来る[行く]」という意味の決まった言い方。

③ (2) 3単現のsを忘れずに。

(3) 「公園」にはtheをつける。

(4) 「眠る」sleep

(5) 「いくつか質問をする」ask some questions

# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.18

**1** 次の文を日本語になおし、不定詞の用法を書きなさい。

- (1) I want to speak in Italian. [ 用法 ]  
( )
- (2) He climbed the tree to get some apples. [ 用法 ]  
( )
- (3) I was shocked to see the movie. [ 用法 ]  
( )
- (4) To find my watch wasn't easy. [ 用法 ]  
( )

**2** 日本文の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

- (1) あなたのコンピューターを使いたいのですが。  
I (to, like, use, would) your computer.  
I \_\_\_\_\_ your computer.
- (2) あなたは将来何になりたいですか。  
(to, what, you, want, do, be) in the future?  
\_\_\_\_\_ in the future?
- (3) 私は数学の勉強をするために図書館へ行きました。  
(library, math, to, the, study, went, I, to).  
\_\_\_\_\_

**3** 次の文を英語になおしなさい。

- (1) 私はアメリカへ行くために英語を勉強する。  
\_\_\_\_\_
- (2) 私の父は医者になりたかった。  
\_\_\_\_\_

## HELP



- 1** 「～すること」と訳せれば名詞的用法、「～するために、～して」と動詞や形容詞を修飾するときには副詞的用法である。(1) Italian 「イタリア語」(3) be shocked 「ショックを受ける」
- 2** (2) 「将来に」 in the future (3) 「私は」 + 「行きました」 + 「図書館へ」 + 「数学の勉強をするために」の順に文を組み立てる。「数学」 math (mathematics の略)
- 3** (2) 「～になる」 be [become] ～, 「医者」 doctor



# 17

## 不定詞 (2)



### 問題にチャレンジ

- 1 There were many **apples**.  
 売るためのりんごがたくさんありました。
- 2 I didn't have **to do** yesterday. (anything)  
 きうは何もすることがありませんでした。
- 3 Keiko wanted **to meet** you.  
 (a) **To play** tennis isn't difficult.  
 (b) Bob went to the river **to swim**.  
 (c) I wanted something **to eat**.

問 日本語の意味になるように、to sell を正しい位置に入れよ。 → 1

問 日本語の意味になるように、( )内の語を正しい位置に入れよ。 → 2

問 to meet と同じ用法の不定詞をふくむ文を(a)~(c)より選べ。 → 3

### 1 不定詞の形容詞的用法

不定詞 (to + 動詞の原形) が名詞を後ろから修飾して、「～するための」と訳するのが形容詞的用法だ。

He wants a **book to read**. (彼は 読むための本 がほしい)

この文では、不定詞 to read が前の名詞 book の後ろにくっついて、「読むための」と book を修飾している。形容詞的用法の不定詞は、**名詞のすぐあとにくっつく(後置修飾)**のだ。

また、「～するための」と訳して不自然だと思えば、「～する」とか「～すべき」などと訳せばよい。

### ここに注意

形容詞が名詞を修飾するときは、ふつう名詞の前に置かれる(⇒ p.44)。

しかし、形容詞的用法の不定詞は、名詞のあとに置かれて前の名詞を修飾する。

#### ● 形容詞 → 名詞

a **new book**  
 (新しい本)

#### ● 名詞 ← 不定詞

a **book to read**  
 (読むための本)

#### 必修文例

We had no **water to drink**.

(私たちには飲むための水が少しもなかった  
 → 私たちには 飲む水 が少しもなかった)

Here is a **picture to show** you.

(ここにあなたに見せるための写真がある  
 → ここにあなたに 見せる写真 がある)

#### ポイント

形容詞的用法の不定詞

「～する」「～すべき」とも訳す  
 「～するための」の意味  
 名詞のあとにくっついて名詞を修飾する



1の答 → There were many apples **to sell**.

「売るための」

## 2 something [anything] to ~

something, anything は、どちらも「何か(のもの)」の意味を表す代名詞で、some, any と同じように、**something** は**肯定文**に、**anything** は**疑問文・否定文**に使う(⇒ p.47)。

この something, anything を不定詞が後ろから修飾することができる。代名詞(名詞の一種)である something, anything を修飾するのだから、もちろん、この不定詞は形容詞的用法だ。

必修文例

We need **something to eat**. (肯定文)

(私たちは**何か食べるもの**[食べるためのもの]が必要だ)

Do you have **anything to read**? (疑問文)

(あなたは**何か読むもの**[読むためのもの]を持っていますか)

ポイント

**something to ~ (肯定文)**  
**anything to ~ (疑問文・否定文)** } → 「何か~するもの」


**2の答** → I didn't have **anything** to do yesterday. → 「何もすることがなかった」 → 「何かすること[するべきこと]を持っていなかった」と考える。否定文なので anything を使っている。

## 3 不定詞の3用法の見分け方

不定詞の用法を見分けるためには、文中での働きをよく考えて、次の表にある意味をあてはめてみる。


	名詞的用法	副詞的用法	形容詞的用法
意味	~すること	~するために、~して	~するための
働き	名詞の働きをして <b>動詞の目的語</b> や、 主語・補語になる	副詞の働きをして <b>動詞や形容詞を修飾する</b>	形容詞の働きをして <b>(代)名詞を修飾する</b>
見分け方	動詞の目的語のとき、動詞のあとにくっついている <b>動詞+不定詞</b>	動詞との間に別の語句がわりこんでいることが多い <b>動詞+~+不定詞</b>	(代)名詞のあとにくっついている <b>(代)名詞+不定詞</b>

**3の答** → (a) → Keiko wanted **to meet** you. (恵子はあなたに会いたがっていた)は、want to ~ の文なので**名詞的用法**。(a)は「テニスをすること」で**名詞的用法**(テニスをするのはむずかしくありません)、(b)は「泳ぐために」で**副詞的用法**(ボブは泳ぐために川へ行った)、(c)は「何か食べる(ための)もの」で**形容詞的用法**(私は何か食べるものがほしい)。

得点アップのコツ 

**nothing** も something などと同じように、あとに形容詞的用法の不定詞をつけることができる。

I have **nothing to eat**.  
(私は食べるためのものを少しも持っていない)

もっとくわしく 

something, anything を修飾する形容詞は、後ろにつける(⇒ p.44)。

I want **something cold**.  
(何か冷たいものがほしい)  
このあとに、さらに形容詞的用法の不定詞をつけることができる。

**something cold to drink**.  
(何か冷たい飲むもの)

ここに注意 

He went to the river **to swim**.

この文で不定詞 to swim の前に名詞 river があるから、形容詞的用法だ、と早トチリしてはいけない。形容詞的用法の不定詞は必ず名詞のあとにくっつくが、名詞のあとの不定詞は必ず形容詞的用法だ、とは言えない。逆ハ必ずシモ真ナラズ。意味は「彼は泳ぐために川へ行った」で、**目的を表す副詞的用法**だ。



# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.19

① 次の文を、下線部に注意して日本語になおしなさい。

- (1) She has many accessories to sell.  
( )
- (2) Do you want a book to read?  
( )
- (3) This is a racket to give him.  
( )
- (4) The runner wanted something to drink.  
( )

② 日本文の意味を表すように下から適当な語を選び、\_\_\_\_に入れなさい。(同じ語を2度以上使ってもよい)

- (1) 彼はきょうすることがたくさんあります。  
He has many \_\_\_\_\_ today.
- (2) 彼らは何か食べるものがが必要です。  
They need \_\_\_\_\_.
- (3) 妹はきのう運転する車がありませんでした。  
My sister had no \_\_\_\_\_ yesterday.
- (4) その森には切るための木はほとんどありません。  
There are few \_\_\_\_\_ in the forest.

to cars eat cut something things do trees drive

③ 日本文の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

- (1) それらは売るための服ですか。  
Are they (to, sell, clothes)?  
Are they \_\_\_\_\_?
- (2) 彼にはその問題を解決するための考えが少しもありませんでした。  
He had (to, no, solve, ideas) the problem.  
He had \_\_\_\_\_ the problem.
- (3) 私は何か読むものがほしい。  
(read, want, to, something, I).

## HELP

① すべて形容詞的用法の不定詞。前にある名詞や代名詞を修飾する。「～するための…」と訳するのが基本。

(1) accessory [æksésəri アクセサリー] 「アクセサリー」

(4) runner 「走者, ランナー」, **something to** 「何か～するもの」

② 形容詞的用法の不定詞は、修飾する(代)名詞のすぐ後ろに置けばよい。

### 単語

#### no

**形** 少しもない  
(名詞の前に置かれる)

#### few

**形** ほとんどない  
(数えられる名詞の前に置かれる)

③ (2) 「少しも～ない」は「**no + 名詞**」で表す。

### 単語

**clothes** [klou(ð)z  
クロウズ / クロウズズ]  
衣服

**solve** [salv サルヴ]  
(困難など)を解決する



# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.19

**1** 次の(1)~(3)の下線部と同じ用法の不定詞を使った文を、下のア~カから2つずつ選びなさい。

- (1) I like to climb mountains. [       ] [       ]  
(2) These are apples to cook. [       ] [       ]  
(3) She goes to the island to spend her vacation. [       ] [       ]

- ア He went to the shop to buy some notebooks.  
イ Do you want to come with us?  
ウ Please come to see me next Saturday.  
エ Here are some albums to show you.  
オ To swim here is dangerous.  
カ Give me something to eat.

**2** 日本文の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

- (1) 彼は美しい写真をとるためにカナダへ行きました。  
(beautiful, Canada, pictures, to, went, he, take, to).
- 

- (2) 私は多くのことを知りたい。  
(lot, want, things, know, I, a, of, to).
- 

- (3) 彼らに何か話すことがありますか。  
(anything, you, to, tell, have, them, do)?
- 

**3** ( )内の語句を使って、次の文を英語になおしなさい。

- (1) 私は今度の日曜日何もすることがありません。(nothing, this Sunday)
- 

- (2) 京都には訪れるべき場所がたくさんあります。(places, in Kyoto)
- 

## HELP



**1** (1)は「～すること」と訳せる名詞的用法、(2)は前にある名詞 apples を修飾する形容詞的用法、(3)は動詞 goes を修飾する副詞的用法の不定詞である。

**2** (1)「写真をとる」take a picture (3)「何か～するもの[すること]」anything to ~

**3** (1)nothing to ~ 「少しも～するものがない」。(2)「～があります」は **There is [are]** ~. で表す。

# 18

## 動名詞



### 問題にチャレンジ

- 1 speak write sit swim  
話す 書く すわる 泳ぐ
- 2 Mr. Johnson likes **to get** up early.  
ジョンソンさんは早く起きるのが好きだ。
- 3 Jim **enjoyed** (to watch, watching) TV.  
ジムはテレビを見て楽しんだ。
- 4 Mika **wanted** (to eat, eating) a cake.  
美香はケーキを食べたかった。

問 それぞれの動詞を動名詞にせよ。

→ 1

問 動名詞を使って同じ意味の英文にせよ。

→ 2

問 ( )内の正しいほうを選べ。

→ 3

問 ( )内の正しいほうを選べ。

→ 3

## 1 動名詞は動詞からつくった名詞

動詞の原形の前に to をつけて不定詞にすると、名詞の働きをさせることができる。同じように動詞の原形に ing をつけると **名詞の働き** をして、「～すること」という意味を表す単語ができる。これが **動名詞** だ。

動詞	動名詞
read (読む)	→ <b>reading</b> (読むこと)
make (つくる)	→ <b>making</b> (つくること)
cut (切る)	→ <b>cutting</b> (切ること)



-ing のつけ方は p.10 で確認しよう。

### Q&A

Q 動詞の **ing** 形は進行形をつくるときに使いましたが、動名詞と同じなのですか？

A 進行形に使うときの動詞の ing 形を **現在分詞** と呼びますが、名詞の働きをしないので、**動名詞** とはちがうのです。現在分詞と動名詞はつくり方・つづり・発音がまったく同じですが、文の中での役目がちがうわけです。

**動名詞 = 動詞の原形 + ing** (つまり動詞の ing 形)

「～すること」の意味 → **名詞** の一種

1の答 → speaking, writing, sitting, swimming → write の e をとること、sit, swim の最後の子音字を重ねることに気をつける。

## 2 文の中での動名詞の働き

動名詞の使い方は、不定詞の名詞的用法とよく似ている。どちらも、動詞からつくられた名詞の働きをする語句だからだ。

① I	like	<b>to read books.</b>	} (私は本を <b>読むこと</b> が好きだ)
② I	like	<b>reading books.</b>	
主語		動詞	目的語

### 得点アップのコツ

動名詞はもと動詞なので、動詞と同じように、いくつかの語を伴うことが多い。

reading books

(本を読むこと)

これは不定詞でも同じだった(⇒ p.82)。



①は名詞的用法の不定詞 to read, ②は動名詞 reading を使っているが、どちらも名詞の働きをして「読むこと」という意味を表し、動詞 like の目的語になっている。また、どちらの文の意味も同じだ。

必修文例

She began <b>crying</b> . (動名詞)	(彼女は泣くことを始めた)
She began <b>to cry</b> . (不定詞)	→ 彼女は泣き始めた)
It started <b>raining</b> . (動名詞)	(雨が降ることを始めた)
It started <b>to rain</b> . (不定詞)	→ 雨が降り始めた)

なお動名詞は、動詞の目的語になるほかに、文の主語や補語にもなる。これも名詞的用法の不定詞と同じだ。

2の答 → Mr. Johnson likes **getting** up early. → 子音字 t を重ねることに注意。不定詞 to get を動名詞 getting にする。

### 3 動名詞と不定詞のどちらが好き？

like, begin, start などの動詞は、目的語に動名詞・不定詞のどちらでも使える。

しかし、動詞が **enjoy** (楽しむ), **finish** (終える), **stop** (やめる) などのときは、目的語に不定詞は使えない。これらは動名詞が好きな動詞だ。

× I enjoy **to sing** a song.

○ I enjoy **singing** a song.

(私は歌をうたうことを楽しむ → 私は歌をうたって楽しむ)

これとは反対に、動名詞がきらいで、不定詞が好きな動詞もある。たとえば、**want** (したい), **hope** (望む), **learn** (学ぶ), **plan** (計画する), **wish** (願う) などの動詞は、目的語に不定詞しか使えない(つまり動名詞は使えない)。

× I want **studying** English.

○ I want **to study** English.

(私は英語を勉強したい)

ポイント

① 目的語に動名詞しか使えない動詞

**enjoy, finish, stop** など

② 目的語に不定詞しか使えない動詞

**want, hope, learn, plan, wish** など

3の答 → Jim enjoyed **watching** TV. → 動詞が **enjoy** なので、目的語は動名詞のほうを選ぶ。

4の答 → Mika wanted **to eat** a cake. → 動詞が **want** なので、目的語は不定詞のほうを選ぶ。

もっとくわしく

動名詞は、動詞の目的語になるが、文の主語・補語にもなり、さらに前置詞のあとにつけることもできる。

**Reading** books is interesting.

(本を読むことはおもしろい)

His work is **making** watches.

(彼の仕事は時計をつくることです)

I'm good **at skiing**.

(私はスキーをすることが得意だ)

おもしろ暗記法

目的語に動名詞をとる動詞は、「メガフェブス」と覚えよう。

× **m**ind (いやに思う)

× **e**njoy (楽しむ)

ガ **g**ive up (あきらめる)

ア **a**void (避ける)

フ **f**inish (終える)

エ **e**scape (逃れる)

プ **p**ractice (練習する)

ス **s**top (やめる)

ここに注意

① I stop **eating**.

② I stop to **eat**.

①は、動詞 stop の目的語として動名詞 **eating** が使われていて、「私は食べることをやめる」の意味。

②は、動詞 stop のあとに不定詞 **to eat** があるが、この不定詞は stop の目的語ではなく、「食べるために」の意味の副詞的用法の不定詞だ。文の意味は、「私は食べるために立ち止まる」となる。

**stop + 動名詞** と **stop + 不定詞** とでは、意味がまったくちがうことに注意。



# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.19

① 次の動詞を、例にならって動名詞にして訳しなさい。

- 例 speak (話す) → speaking (話すこと)
- (1) work (働く) → \_\_\_\_\_ ( )
- (2) make (つくる) → \_\_\_\_\_ ( )
- (3) swim (泳ぐ) → \_\_\_\_\_ ( )
- (4) read (読む) → \_\_\_\_\_ ( )
- (5) write (書く) → \_\_\_\_\_ ( )
- (6) run (走る) → \_\_\_\_\_ ( )
- (7) come (来る) → \_\_\_\_\_ ( )
- (8) sit (すわる) → \_\_\_\_\_ ( )
- (9) study (勉強する) → \_\_\_\_\_ ( )
- (10) get (得る) → \_\_\_\_\_ ( )

② 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) I liked swimming in the lake.  
( )
- (2) Did it stop snowing, Sayaka?  
( )
- (3) I'm looking forward to making cakes.  
( )

③ 日本語の意味を表すように、( )内の語を並べかえなさい。

- (1) 私たちはテニスをして楽しんだ。  
We (playing, tennis, enjoyed).  
We \_\_\_\_\_.
- (2) ベイカーさんはきのうその本を読み終えた。  
Mr. Baker (the, finished, book, reading) yesterday.  
Mr. Baker \_\_\_\_\_ yesterday.
- (3) 彼らは公園で野球をし始めた。  
They (playing, baseball, started) in the park.  
They \_\_\_\_\_ in the park.
- (4) 窓を開けていただけますか。  
(you, do, opening, mind) the window?  
\_\_\_\_\_ the window?

## HELP

① 注意すべき ing 形の  
つくり方

- ① 発音しない e で終  
わる語 → e をとって  
**ing**
- ② 「1 母音字 + 1 子音  
字」で終わる語 →  
子音字を重ねて **ing**

(2)(5)(7)は①, (3)(6)(8)(10)は  
②

② 動名詞(-ing)は「～  
すること」と訳せる。

- (1) lake 「湖」
- (2) この it は天候を表す  
主語。「それ」と訳して  
はいけない。stop  
snowing → 「雪が降る  
ことが止まる」→ 「雪が  
やむ」
- (3) **look forward to**  
**-ing** 「～するのを楽しみ  
に待つ」

③ (1) 動詞 enjoy, (2) 動  
詞 finish は動名詞を目的  
語にすることができる。  
(3) 動詞 start は不定詞・  
動名詞の両方を目的語に  
することができる。

enjoy	-ing
finish	-ing
start	< -ing to ~

(4) mind (いやに思う)  
「窓を開けるのをいやに  
思いますか」と考える。

# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.19

**1** 次の文の( )内の動詞を、動名詞または不定詞の適当な形に書きかえなさい。両方可能なときは、両方とも書きなさい。

- (1) Mr. Smith began (walk) again. \_\_\_\_\_
- (2) We enjoyed (watch) TV. \_\_\_\_\_
- (3) I want (help) you. \_\_\_\_\_
- (4) She finished (do) her homework. \_\_\_\_\_
- (5) I hope (see) him. \_\_\_\_\_
- (6) Do you like (collect) stamps? \_\_\_\_\_
- (7) The baby stopped (cry) at last. \_\_\_\_\_

**2** 日本文の意味を表すように、\_\_\_\_に適当な1語を入れなさい。

- (1) 彼は昼食を食べ終えた。  
He \_\_\_\_\_ lunch.
- (2) 彼女はそのCDを聞いて楽しみましたか。  
Did she \_\_\_\_\_ to the CD?
- (3) ピアノを弾くのをやめてください。  
Please \_\_\_\_\_ the piano.
- (4) 彼らはプールで泳ぐのが好きだ。  
They \_\_\_\_\_ in the pool.

**3** 日本文の意味を表すように、( )内の語(句)を並べかえなさい。ただし、1語は適当な形にかえて使うこと。

- (1) 私は彼女と話をして楽しかった。  
(enjoyed, with, I, talk, her).  
\_\_\_\_\_
- (2) 1時間雨がやまなかった。  
(for, didn't, rain, an, stop, it, hour).  
\_\_\_\_\_
- (3) 彼はギターを弾くのが得意だ。  
(good, he, the, play, is, guitar, at).  
\_\_\_\_\_

## HELP



**1** (7) at last「とうとう」 stop のあとは、文全体の意味を考えて適当な形にすること。

**2** (2) Did ~? の疑問文なので動詞は原形。「~を聞く」listen to ~

(3) 命令文なので動詞は原形に。

**3** (2) 天気を表す文は **it** を主語にする。「雨が降る」rain

# 定期テスト予想問題5

時間 20分  
解答 → 別冊 p.19

得点	/ 100
----	-------

1 次の文の( )内から正しいものを選び、記号で答えなさい。

〈18点 = 2点 × 9〉

- (1) I don't want (ア to sleep イ slept ウ sleeping) now.
- (2) Let's enjoy (ア to learn イ will learn ウ learning) English with us.
- (3) She began (ア to worked イ to work ウ work) in the kitchen.
- (4) My father goes to a concert (ア to listen イ listens ウ listening) to classical music.
- (5) We finished (ア to play イ playing ウ played) tennis.
- (6) These are presents (ア to give イ are giving ウ giving) her.
- (7) Do you mind (ア open イ to open ウ opening) the door?
- (8) I (ア wanted イ enjoyed ウ finished) to take a walk then.
- (9) He likes (ア to takes イ takes ウ taking) pictures.

2 日本語の意味を表すように、\_\_\_\_に適切な1語を入れなさい。

〈16点 = 4点 × 4〉

- (1) 彼は車を洗い始めた。  
He started \_\_\_\_\_ his car.
- (2) 彼女は昼食を食べるために帰宅します。  
She goes home \_\_\_\_\_ lunch.
- (3) マイクは冬にスキーをするのが好きです。  
Mike likes \_\_\_\_\_ in winter.
- (4) 私たちは今週することが多い。  
We have a lot of things \_\_\_\_\_ this week.

3 各組の文がほぼ同じ意味を表すように、\_\_\_\_に適切な1語を入れなさい。

〈15点 = 3点 × 5〉

- (1) { We sang many songs. We enjoyed it.  
We \_\_\_\_\_ many songs.
- (2) { I need some food.  
I need \_\_\_\_\_ eat.
- (3) { He likes to read science books.  
He likes \_\_\_\_\_ books.
- (4) { My brother visited England. He wanted to study English history.  
My brother visited England \_\_\_\_\_ English history.
- (5) { They don't have anything to tell me.  
They have \_\_\_\_\_ tell me.



4 次の文を日本語になおして、下線部の不定詞の用法を[ ]に書きなさい。 (12点=4点×3)

- (1) He hopes to run the fastest. [                      ] 用法)  
(                      )  
(2) Did they have anything to drink? [                      ] 用法)  
(                      )  
(3) Please come to see me tomorrow. [                      ] 用法)  
(                      )

5 次の文を日本語になおしなさい。 (12点=4点×3)

- (1) I am looking forward to playing the video game. (                      )  
(2) Stop complaining about your meals. (                      )  
(3) You should practice speaking English all the time. (                      )

6 次の文を、不定詞または動名詞を使って英語になおしなさい。 (15点=5点×3)

- (1) 私は上手に英語を話したい。  
\_\_\_\_\_
- (2) 父はいつも働くのを楽しんでいる。  
\_\_\_\_\_
- (3) 彼はギターを買うために熱心に働いた。  
\_\_\_\_\_

7 <リスニング問題> 24 英文を聞いて、その内容についての(1)~(3)の質問に対する最も適当な答えを、ア~エの中から1つずつ選びなさい。 (12点=4点×3)

- (1) ア For one week.                      イ For two weeks.  
ウ For three weeks.                      エ For four weeks.  
(2) ア Baseball.                      イ Judo.  
ウ Kendo.                      エ Kendo and judo.  
(3) ア Yuji and Peter's parents did.  
イ Yuji and Peter's friends did.  
ウ Yuji and Yuji's friends did.  
エ Yuji and Yuji's parents did.

# わかるゼミ6

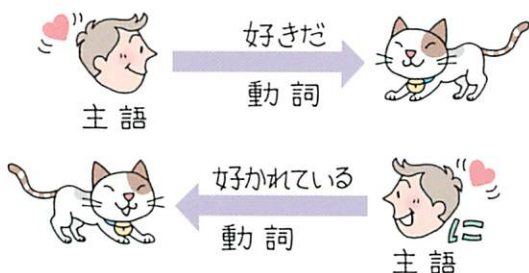
## 「～される」は受け身

### 「～する」と「～される」

Mike likes the cat. (マイクはそのネコが好きだ)

この文では、主語マイクの「好きだ」という気持ちを表し、その好きな相手(動詞の目的語)がネコなのだ。

この文をネコを主語にして言いかえると、「そのネコはマイクに好かれている」となる。主語のネコは、「好きだ」というマイクの子供の気持ちを受けるので、「好かれている」という表現にかわる。



気持ちを表す場合だけでなく、動作をする場合も同じだ。

マイクはネコが好きだ。 → ネコはマイクに好かれている。  
 彼女は手紙を書いた。 → 手紙は彼女によって書かれた。

右側の「好かれている」「書かれた」など「～される[された]」という表現は、主語が動作や気持ちを受け<sup>じゅ</sup>ることを表しており、英語ではこれを受け身(または受動態)と言う。

### 受け身の文では、過去分詞が再登場

英語の受け身「～される」の文をつくるには、現在完了のところでも使った過去分詞を使う。

過去分詞のつくり方には2通りあったけど、覚えているかな? 規則動詞と不規則動詞でつくり方がちがったね。ここでもう一度見てみることにしよう。

	原形(現在形)	過去形	過去分詞
規則動詞	like(好きだ)	→ liked(好きだった)	→ liked
不規則動詞	make(つくる)	→ made(つくった)	→ made
	write(書く)	→ wrote(書いた)	→ written



### ここに注意!

受け身の文は、必ずしも「～される[された]」と訳すとはかぎらない。たとえば、「京都は多くの人を訪れます」を、京都を主語にして表すとどうなるか。「京都は多くの人によって訪られます」で、受け身の文になる。けれども、ふつう日本語ではこういう言い方はしない。このように、日本語では受け身に訳さないことが多いので注意しよう。

### もっとくわしく

受け身[受動態]に対して、「好きだ」「書いた」など「～する[した]」という表現は、主語が動作をしたり、主語の気持ちを表したりしていて、これを能動態<sup>のうどうたい</sup>と言う。

規則動詞の過去分詞は、過去形と同じで **ed** をつけるんだっけ。  
 不規則動詞の変化には、**A-A-A**、**A-B-A**、**A-B-B**、**A-B-C** の4つのパターンがあるのを覚えているかな？ くわしくは、p.65で確認しておこう。

## 受け身は「be 動詞＋過去分詞」

動詞の過去分詞は受け身の大切な部品だが、過去分詞だけで受け身になるのではなく、前に **be 動詞** を置いて、「**be 動詞＋過去分詞**」の形にして、はじめて「**～される**」という受け身になる。be は原形だから、主語によって **am**、**are**、**is** を使い分け、過去の文なら **was**、**were** を使い分けなければならない。

「**be 動詞＋過去分詞**」と似た形に、「**be 動詞＋現在分詞**」がある。進行形だね。be 動詞の使い方は進行形の場合と同じだ。  
↳動詞のing形

では、受け身の文をつくってみよう。

The cat **is liked**. (そのネコは**好かれている**)  
be 動詞(現在形)＋過去分詞  
 The letter **was written**. (その手紙は**書かれた**)  
be 動詞(過去形)＋過去分詞

## だれ[何]によって「～される」のか

上の文「そのネコは好かれている」「その手紙は書かれた」は受け身の文だ。だが、何かたりないぞ！

「ネコは好かれている」けれど、いったい、**だれに**[だれから]好かれているのだろうか？ 「手紙は書かれた」のはわかったが、その手紙は**だれによって**書かれたのだろう？

そうだね。「**…に**」「**…によって**」の部分が抜けていると、意味がはっきりしないね。この「**…に**」「**…によって**」を表す部分が **by ...** だ。そして、**by ...** を「**be 動詞＋過去分詞**」のあとにつけると、「**…に(よって)～される**」を表すことができる。by のあとに代名詞が来る場合は、その代名詞は**目的格**になるということに**要注意**だ。

**必修文例**  
 The cat **is liked by Mike**.  
 (そのネコは **マイクに(よって)** 好かれている)  
 The letter **was written by her**.  
 (その手紙は **彼女によって** 書かれた) ↳by のあとは目的格(⇒ p.22)

### もっとくわしく

p.65にあげたもの以外に、次の不規則動詞も代表的だ。

原形(現在形)	過去形	過去分詞
A - A - A 型		
cut	cut	cut
A - B - A 型		
run	ran	run
A - B - B 型		
bring	brought	brought
build	built	built
catch	caught	caught
say	said	said
send	sent	sent
teach	taught	taught
A - B - C 型		
choose	chose	chosen
give	gave	given
ride	rode	ridden
see	saw	seen
sing	sang	sung
speak	spoke	spoken
take	took	taken





## 19

## 受け身 [受動態]



## 問題にチャレンジ

1 This computer (**be use**) by Ken.

このコンピューターは鍵によって使われている。

2 He **made** a lot of watches.

彼は多くのうで時計をつかった。

3 Mr. Takano **teaches** us music.

高野先生は私たちに音楽を教えます。

4 **Did you take** that picture?

あなたはあの写真をとったのですか。

問 ( )内の語を適当な形にせよ。

→ 1

問 受け身の文に書きかえよ。

→ 2

問 2通りの受け身の文に書きかえよ。

→ 3

問 受け身の文に書きかえよ。

→ 2

## 1 受け身「～される」の基本形

「～される[された]」と受け身の意味を表す文では、主語のあとに「**be 動詞+過去分詞**」を使い、さらにそのあとに **by ...** をつけて、「**…によって～される[された]**」という意味を表すのが基本的な形だ。

English **is spoken** **by** many people.

主語 be 動詞+過去分詞 by ... (…によって)  
(英語は多くの人々によって話されている)

## ここに注意

受け身の文を「～される」と訳してみても、ちょっとおかしいと思ったら、「～されている」と訳してみよう。受け身は「～されている」と状態を表すこともあるからだ。

好かれる → 好かれている  
書かれる → 書かれている

受け身 [受動態] = **be 動詞+過去分詞+ by ...**

↳ am, are, is, was, were を使い分ける

→ 「…によって～される[された]」

1の答 → **is used** → 現在の受け身の文なので、be 動詞は主語に合わせて is を使い、use は過去分詞にする。

## 2 能動態の文から受け身の文への書きかえ

能動態の文を受け身の文に書きかえるには、①～③のようにする。

- ① 能動態の文の目的語を、受け身の文の主語にする。
- ② 能動態の文の動詞を「**be 動詞+過去分詞**」の形にする。be 動詞は受け身の主語に合わせる。
- ③ 能動態の文の主語を目的格にして前に **by** をつけ、②のあとに入れる。  
↳ 代名詞のときは me, him, her, us, them など

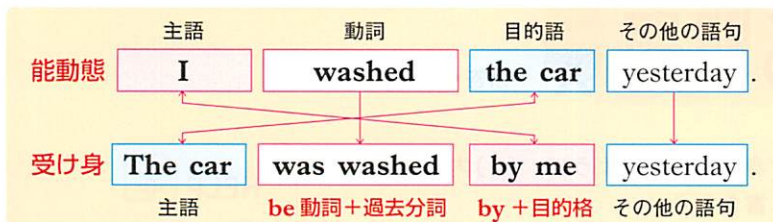
では、「きのう私は車を洗った」という能動態の過去の文を、「きのう車は私によって洗われた」という受け身の過去の文に書きかえてみよう。

## 得点アップのコツ

受け身の文は、「be 動詞+過去分詞」の be 動詞を見れば、現在の文か過去の文かわかる。

The book **was written**  
主語 be 動詞+過去分詞  
**by** Mr. Smith.  
by ... (…によって)

→ be 動詞が **was** (過去形) だから、受け身の過去の文。意味は「その本はスミス氏によって書かれた」となる。



**2の答** → A lot of watches were made by him. (多くのうで時計が彼によってつくられた) → be 動詞は複数の過去形 were を使い、「be 動詞 + 過去分詞」は **were made** とする。

### 3 能動態の文から2つの受け身の文ができる

目的語が2つある能動態の文 (S + V + O + Oのタイプの文 → p.59) は、「～(人)に」の目的語を主語にした受け身の文と、「～(物)を」の目的語を主語にした受け身の文との、2つの受け身の文に書きかえることができる。

**必修文例**

I asked Mr. Smith a question.

主語 動詞 目的語(人) 目的語(物)  
(私はスミスさんに質問をしました)

→ ① Mr. Smith was asked a question by me.  
主語 [be 動詞+過去分詞] + 目的語(物) by ...  
(スミスさんは私に(よって)質問をされました)

→ ② A question was asked Mr. Smith by me.  
主語 [be 動詞+過去分詞] + 目的語(人) by ...  
(質問が私によってスミスさんにされました)

**3の答** → We are taught music by Mr. Takano. (私たちは高野先生によって音楽を教えられる) / Music is taught (to) us by Mr. Takano. (音楽は高野先生によって私たちに教えられる) → 目的語(人)us, 目的語(物)musicをそれぞれ主語として、受け身の文をつくれればよい。

### 4 受け身の疑問文・否定文

受け身の文は be 動詞のある文だから、be 動詞の文と同じようにして疑問文・否定文をつくれればよい。

疑問文「Be 動詞 + 主語 + 過去分詞 ～？」

Is this desk used by her? (この机は彼女によって使われますか)

否定文「主語 + be 動詞 + not + 過去分詞 ～」

This desk is not used by her.

(この机は彼女によって使われていません)

**4の答** → Was that picture taken by you? (あの写真はあなたによってとられたのですか) → that picture を主語にして、Did のかわりに be 動詞の単数・過去形 was を使う。

### ここに注意!

受け身の文の by のあとには、能動態の文の主語が来るが、それが代名詞の場合、目的格の形になおすことを忘れないように!

→ by me, by him,  
by her, by them

### もっとくわしく

受け身の文では、動作をする人や物を by ... で示すが、とくに動作をする人や物を示す必要のないときは、by ... は省略される。

E-mail is exchanged all over the world.

(Eメールは世界中でやりとりされている)

### 得点アップのコツ

by のかわりに at, in, with などが使われることがある。

- be surprised at ～ (～におどろく)
- be interested in ～ (～に興味がある)
- be covered with ～ (～におおわれる)
- be made of ～ (～(材料)でつくられる)
- be made from ～ (～(原料)からつくられる)
- be known to ～ (～に知られている)
- be filled with ～ (～で満たされている)

2 単語以上で1つの動詞と考えると、受動態をつくる場合がある。

speak to ～ (～に話しかける)

laugh at ～ (～をあざ笑う)

take care of ～

(～の世話をする) など。

I was spoken to by a girl.

(私は女の子に話しかけられた)  
to は消さないこと!



# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.21

① 日本文の意味を表す受け身の文になるように、( )内の語を正しい形になおして\_\_\_\_に書きなさい。

- (1) English (use) in many countries. \_\_\_\_\_  
英語は多くの国々で使われている。
- (2) This book (read) by everyone. \_\_\_\_\_  
この本はみんなに読まれている。
- (3) The song (love) by the girls. \_\_\_\_\_  
その歌は少女たちに愛されている。
- (4) The room ① (clean) by ② (he). ① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_  
その部屋は彼によってそうじされた。
- (5) These dishes ① (wash) by ② (she). ① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_  
これらの皿は彼女によって洗われた。

② 各組の文が同じ意味を表すように、\_\_\_\_に適切な1語を入れなさい。

- (1) { Tom painted the pictures.  
The pictures \_\_\_\_\_ by Tom.
- (2) { I needed a new computer.  
A new computer \_\_\_\_\_ by \_\_\_\_\_.
- (3) { Natsume Soseki wrote *Botchan*.  
*Botchan* \_\_\_\_\_ by Natsume Soseki.
- (4) { They speak Spanish in Peru.  
Spanish \_\_\_\_\_ in Peru.

③ \_\_\_\_\_に適切な1語を入れて、(1)(2)の文を疑問文と否定文に書きかえなさい。また、疑問文の答えの文を完成しなさい。

- (1) These cars are made in Germany.  
〔疑問文〕 \_\_\_\_\_ these \_\_\_\_\_ made in Germany?  
〔答えの文〕 Yes, \_\_\_\_\_.  
〔否定文〕 These cars \_\_\_\_\_ in Germany.
- (2) The movie was liked by old people.  
〔疑問文〕 \_\_\_\_\_ the movie \_\_\_\_\_ by old people?  
〔答えの文〕 No, \_\_\_\_\_.  
〔否定文〕 The movie \_\_\_\_\_ by old people.

## HELP

- ① (1) English(英語)は単数扱い。  
(2) 原形・過去分詞が同じ形の動詞に注意。
- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 原形     | 過去形   | 過去分詞  |
| read   | read  | read  |
| [ri:d] | [red] | [red] |
| cut    | cut   | cut   |
| put    | put   | put   |
- (4)(5) by のあとの代名詞を目的格にする。

- ② 受け身にしたときの主語は**単数か複数か**、**現在の文か過去の文か**、を見分けて be 動詞の形を決める。  
(4) They は「人々」と関係者全体を表すので by them は省略されるのがふつう。Peru(ペルー)は南米の国で、スペイン語が話されている。

### 単語

**Spanish** [spæniʃ]  
スパニシ  
スペイン語

- ③ 受け身の疑問文は、**be 動詞のある疑問文と同じように、be 動詞を文のはじめに置けばよい**。答えの文は、疑問文の主語を代名詞になおして答える。  
受け身の否定文は、**「be 動詞 + not + 過去分詞」**  
(1) these は this の複数形。



# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.21

**1** 次の文の( )内から適当な語を選びなさい。また、全文をそれぞれ日本語になおしなさい。

- (1) My cake was (eat, eating, eaten, eated) by my sister.  
( )
- (2) (Did, Does, Was) the letter found by Mike?  
( )
- (3) The star (wasn't, isn't, doesn't didn't) known to us long ago.  
( )
- (4) That desk is made (of, from, with) wood.  
( )
- (5) The town is covered (of, from, with) snow.  
( )

**2** 日本文の意味を表すように、\_\_\_\_に適当な1語を入れなさい。

- (1) 彼はコンピューターに興味があります。  
He is \_\_\_\_\_ computers.
- (2) 私は通りで外国人に話しかけられました。(「～に話しかける」 speak to ~)  
I \_\_\_\_\_ a foreigner on the street.
- (3) そのネコは車にひかれました。(「(車などが)～をひく」 run over ~)  
The cat \_\_\_\_\_ a car.
- (4) あなたの国ではどんな言葉が話されていますか。  
\_\_\_\_\_ language is \_\_\_\_\_ in your country?

**3** 次の文を受け身の文に書きかえなさい。

- (1) They found a lot of oil in America.  
\_\_\_\_\_
- (2) Mr. Kent told me some interesting stories. (2通りの受け身の文に)  
I \_\_\_\_\_.  
Some \_\_\_\_\_.

**HELP** **1** (2)あとに found (find の過去分詞)があることに注意。「Be 動詞+主語+過去分詞～？」の受け身の疑問文。(4) wood (木材) は desk の「材料」「原料」ではない。



**2** (1)by 以外の語を使う受け身の文。(2)(3)speak to ~, run over ~は、2単語で1つの動詞と考えて受け身をつくることに注意する。(4)疑問詞(Wh ~)を文のはじめに置く。

**3** (1)の文の主語 **They** は「一般の人々」を表すので、受け身では **by them** を省略する。

# 20 接続詞



## 問題にチャレンジ

- 1** **Either** you ( ) I must go to the city hall.  
あなたか私のどちらかが市役所へ行かなければならない。
- 2** I play tennis. I use this racket.  
私はテニスをする**とき**、このラケットを使う。
- 3** He is busy. I will help him.  
もし彼が忙しい**ならば**、私は彼を手伝うつもりです。

問 日本語の意味を表すように、( ) 内に適当な1語を入れよ。→ **1**

問 日本語の意味を表すように、when を使って1つの文にせよ。→ **2**

問 日本語の意味を表すように、if を使って1つの文にせよ。→ **3**

## 1 接続詞は「つなぎ言葉」である

**and, or, but** などの単語を**接続詞**と言う。これらの単語は、その前後の語と語、句と句、文と文をつなぐ働きをする「**つなぎ言葉**」だ。

- I like **both** English **and** math.  
(私は英語と数学の両方が好きだ)
- Can I see you **either** on Tuesday **or** on Thursday?  
(火曜日か木曜日にお会いしていいですか)
- Not** Ken **but** Keiko went to America alone.  
(健ではなく恵子が1人でアメリカに行った)
- He is **not only** a scholar **but (also)** a poet.  
(彼は学者だけでなく詩人でもある)
- Work hard, **and** you will succeed.  
(熱心に働きなさい、そうすれば成功するでしょう)
- Hurry up, **or** you'll be late for school.  
(急ぎなさい、そうしないと学校に遅れるでしょう)

**1**の答 → **or** → **either A or B** の形

## 2 「時」を表す接続詞 — when など

**when** は「いつ?」と「時」をたずねる文に使うが、「時」を表す**接続詞**としても使われて「**～(する)とき**」の意味を表す。

- 必修文例**
- He worked hard **when** he was young.
  - When** he was young, he worked hard.  
(若かった**とき**、彼は熱心に働いた)

①も②も He worked hard. と、He was young. の2つの文を、**when** でつないで1つの文にしたもので、意味は同じだ。しかし形は

### 得点アップのコツ

よく見かける**接続詞**

**and** ～と、そして  
**or** ～か、または  
**but** ～だが、しかし

### ここに注意

**so** 「それで」も**接続詞**である。

### 得点アップのコツ

**both A and B**  
「AとBの両方」  
**either A or B**  
「AかBのどちらか一方」  
**not A but B**  
「AではなくB」  
**not only A but (also) B**  
「AだけでなくBも」  
命令文、**and** ～  
「…しなさい、そうすれば～」  
命令文、**or** ～  
「…しなさい、そうしないと～」

### もっとくわしく

**either A or B** と  
**neither A nor B** はセットで覚えよう。  
**neither A nor B** は「AもBも～ない」  
I know **neither** Tom **nor** Ken.  
(私はトムも健も知らない)



ちがっていて、①は when ~をあと、②は when ~を先に置いている。どちらでもよいが、先に置く文では、When ~のあとにコンマをつける。このルールは、このあとで説明するほかの接続詞についてもあてはまる。

when のような「時」を表す接続詞には、ほかに **while** (～する間に)、**before** (～する前に)、**after** (～したあとで)、**as soon as** (～するとすぐに) などがある。

必修  
文例

She made sandwiches **while** I was out.  
(私が外出している **間に**、彼女はサンドイッチをつくった)

**As soon as** he got up, he went to school.  
3語で接続詞の役目をする  
(彼は起きると **とすぐに**、学校へ行った)

**2の答** → When I play tennis, I use this racket. / I use this racket **when** I play tennis. → 2通りの文が可能である。「私はテニスをするとき」を **when** I play tennis として、文をつなげばよい。

### 3 「理由」「条件」などを表す接続詞— because, if など

**because** は「～だから」「～ので」と「理由」を、**if** は「もし～ならば」と「条件」を表す。

必修  
文例

I want something to eat **because** I am hungry.  
(私はおなかがすいている **ので**、何か食べ物がほしい)

**If** you like the CD, I will lend it to you.  
(もし そのCDが好き **ならば**、あなたに貸しましょう)

**so ~ that ...** は、「**so + 形容詞[副詞] + that ...**」の形で、「とても～ので…」と「結果」を表す。

She was **so** happy **that** she began to dance.  
(彼女は **とても** 幸福だった **ので**、踊り始めました)

**3の答** → If he is busy, I will help him. / I will help him **if** he is busy. → 2通りの文が可能である。→ 「もし彼が忙しいならば」を **if** he is busy として、文をつなげばよい。

ポイント

#### ●「時」を表す接続詞

**when** ~ 「～(する)とき」  
**while** ~ 「～する間に」  
**before** ~ 「～する前に」  
**after** ~ 「～したあとで」  
**as soon as** ~  
「～するとすぐに」

#### ●「理由」「条件」を表す接続詞

**because** ~  
「～だから」「～ので」  
**if** ~ 「もし～ならば」  
**so ~ that ...**  
「とても～ので…」

#### 得点アップのコツ

接続詞 when でつないだ文を2つに分けてみよう。

(ア) He worked hard  
(イ) **when** he was young.  
接続詞のついた(イ)を副詞節と言う。節は「主語 + 動詞」をふくむ語の集まりで、それが副詞と同じ働きをする(イ)は(ア)の動詞 worked を修飾するので、副詞節というわけだ。  
(ア)と(イ)はどちらを先に置いてもよいが、訳すときは副詞節のほうから訳す。

#### ここに注意

after, before は、前置詞として使われることも多い(⇒ p.106)。

#### 得点アップのコツ

because は、  
**Why ~ ? (なぜ～か)**  
という疑問文の答えにも使われる。

**Why** were you absent?  
(なぜ欠席したのですか)  
— **Because** I was sick.  
(病気だったからです)

#### もっとくわしく

「けれども」と「譲歩」を表す **though** という接続詞もある。

**Though** I am poor, I am happy.  
(私は貧乏だけれども幸せである)

# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.21

## HELP

① まず「時」を表す接続詞を、次の順に覚えよう。

~(する)とき  
~するとすぐに  
~する前に  
~する間に  
~したあとで

② (2)「することがなかったので」は「理由」を表す。

(3) run away  
「逃げ出す」

(4) **【AもBも(両方とも)】**  
は **both A and B** の形で表す。

### 単語

**should**  
~すべきである  
**nothing**  
何も~ない

③ それぞれの文中で、接続詞にあたるものをさがそう。

### 単語

**at home**  
在宅している

① 次の意味を表す接続詞を、下から選んで書きなさい。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| (1) もし~ならば _____  | (2) ~(する)とき _____ |
| (3) ~する前に _____   | (4) ~したあとで _____  |
| (5) ~するとすぐに _____ | (6) しかし _____     |
| (7) そして _____     | (8) または _____     |
| (9) ~だから _____    | (10) ~する間に _____  |

and    or    but    when    if    because    before  
after    while    as soon as

② 日本文の意味を表すように、\_\_\_\_に適切な1語を入れなさい。

- (1) 外出する前には窓を閉めるべきです。  
\_\_\_\_\_ you go out, you should close the windows.
- (2) 彼は何もすることがなかったので、テレビを見ていました。  
He was watching TV \_\_\_\_\_ he had nothing to do.
- (3) マイクはその犬を見るとすぐに逃げ出した。  
As \_\_\_\_\_ as Mike saw the dog, he ran away.
- (4) 私は夏も冬も好きです。  
I like \_\_\_\_\_ summer \_\_\_\_\_ winter.
- (5) 彼ではなくあなたが彼女に会わなければならない。  
\_\_\_\_\_ he \_\_\_\_\_ you must meet her.

③ 日本文の意味を表すように、( )内の語句を並べかえなさい。

- (1) 私が訪ねたとき、マユミは家にいなかった。  
Mayumi (her, at home, wasn't, I, visited, when).  
Mayumi \_\_\_\_\_.
- (2) 宿題を終えたあとで外出しよう。  
I (I, my, will, after, go out, finish, homework).  
I \_\_\_\_\_.
- (3) あなたがEメールを送ったら、彼女は驚くでしょう。  
She (if, will, e-mail, you, be, send, surprised) to her.  
She \_\_\_\_\_ to her.



# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.21

**1** 次の文の( )内から適当な語を選びなさい。

- (1) (When, If, Because) I was riding a bike, it started to rain.
- (2) He can speak both English (and, but, or) Spanish.
- (3) We will go either to New York (and, or, before) to San Francisco.
- (4) (And, Or, If) he is not busy, he will come to our party.
- (5) The girl was so pretty (that, both, than) I liked her the best in her class.
- (6) Please lend the book to me (but, after, while) you read it.

**2** 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) It was cold, so I closed the window.  
( )
- (2) If it is fine tomorrow, we will go on a picnic.  
( )
- (3) “Why are you using computers?” “Because I want to exchange e-mail.”  
( )
- (4) Brush your teeth before you go to bed.  
( )

**3** 日本文の意味を表すように、( )内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) 私といっしょに来なさい。そうすればあなたに料理の本を見せてあげましょう。  
(I, the, me, show, come, will, cooking books, with, you, and).

- (2) あなたか私のどちらかが部屋をそうじしなければならない。  
(or, must, you, clean, the, either, I, room).

- (3) 彼は家に帰るとすぐに宿題をし始めました。  
He (as, began, do, as, came, he, home, his, soon, to, homework).  
He \_\_\_\_\_.

- (4) 彼は英語だけでなくフランス語も話す。  
He (only, also, English, French, speaks, but, not).  
He \_\_\_\_\_.

## HELP



- 1** (2)(3)(5)はそれぞれ both, either, so に着目する。(3) San Francisco 「サンフランシスコ」
- 2** (3) **Why ~ ?** に対しては、ふつう **Because ~**. (～だからです) と答える。exchange e-mail 「Eメールを交換する」(4) brush one's teeth 「歯をみがく」teeth は tooth(歯)の複数形。
- 3** (1)「**命令文～, and ...**」(～しなさい、そうすれば…)の文。(2)主語が either A or B の形。  
(3)「家に帰る」come home

# 21 前置詞



問題にチャレンジ

- 1 He studied math (**at, in, on**) the morning.  
彼は午前中に数学を勉強した。
- 2 There are some pens ( ) the desk.  
机の上に何本かペンがあります。
- 3 Do you go to school ( ) bike?  
あなたは自転車で学校へ行きますか。

問 ( ) 内から適当な語を選べ。

→ 1

問 ( ) 内に適当な前置詞を入れよ。

→ 2

問 ( ) 内に適当な前置詞を入れよ。

→ 3

## 1 「時」を表す前置詞

必  
修  
文  
例

- I get up **at** seven thirty. (私は7時30分 **に** 起きる)  
 Let's play tennis **on** Sunday. (日曜日 **に** テニスしよう)  
 We can ski **in** winter. (私たちは冬 **に** スキーができる)

**at** は「7時に」のように時刻などの短い時間を表すのに使い、**in** は「冬に」のように季節などの長い時間をふくむときに使い、**on** はその中間の曜日や日[日付]を表すのに使う。

もっとくわしく

前置詞は、前に置く詞という意味だが、何の前に置くかと言えば、ふつう**名詞・代名詞の前に置く**。もちろん、名詞に a や the や形容詞などがつけば、その前に置くことになる。

▶ **in と at を使った時間を表す表現**

- in the morning**  
(午前中に)
- in the afternoon**  
(午後)
- in the evening** (晩に)
- at night** (夜に)

ここに注意

「時」を表す語句に every, last, this などがつけば、前置詞は使わない。  
 every morning (毎朝)  
 last year (去年)  
 this month (今月)

ポイント

at (時刻)	on (曜日・日)	in (季節・年・月)
at seven (7時に)	on Sunday (日曜日に)	in fall (秋に)
at noon (正午に)	on April 1 (4月1日に)	in April (4月に)

ほかに「時」を表す前置詞には、次のようなものがある。

- after** 「～後に」 *after* dinner (夕食後に)
- before** 「～前に」 *before* lunch (昼食前に)
- for** 「～の間」 *for* a week (1週間)
- during** 「～の間」「～の間中」 *during* the day (昼の間中)  
特定の時間
- from** 「～から」 *from* today (きょうから)
- until [till]** 「～まで(ずっと)」 *until* seven (7時まで)
- by** 「～までには」 *by* tomorrow (あすまでには)



1 の答 → **in** → in the morning (午前中に) の表現。



## 2 「場所」を表す前置詞

**at** 「～で」「～に」(比較的せまい場所に使う)

I met him **at** the station. (私は駅で彼に会いました)

**in** ① 「～で」「～に」(比較的広い場所に使う) ② 「～の中に[で]」

① Mr. Tanaka lives **in** America.

(田中さんはアメリカに住んでいます)

② Mr. Tanaka is **in** the room. (田中さんは部屋の中にいます)

**above** 「～より上のほうに」

**over** 「(はなれて)～の真上に」

**on** 「(くっついて)～の上に」

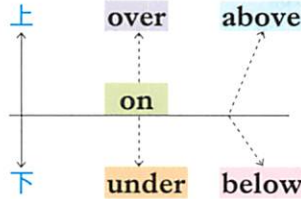
**under** 「(はなれて)～の真下に」

**below** 「～より下に[低く]」

**near** 「～の近くに」

**by** 「～のそばに」

**around** 「～のまわりに」 **around** the pool (プールのまわりに)



**in front of** 「～の前に」 **in front of** the car (車の前に)

3語で1つの前置詞の役目をする

**behind** 「～の後ろに」 **behind** the car (車の後ろに)

**between** 「～の間に」 **between** A and B (AとBの間に)

2つのもの

**among** 「～の間に」 **among** them (彼ら[3人以上]の間に)

3つ以上のもの

**from** 「～から」 **from** the station **to** school

**to** 「～へ」 (駅から学校まで)

**into** 「～の中へ」 **into** the room (部屋の中へ)

**out of** 「～から(外へ)」 **out of** the room (部屋から[外へ])

2語で1つの前置詞の役目をする

2の答 → **on** → 「(くっついて)～の上に」の意味を表す。

## 3 そのほかの前置詞

**about** 「～について」 **about** Nara (奈良について)

**by** ① 「～によって」 ② 「(乗り物などで)」 **by** bus (バスで)

受け身の文によく使われる → p.98

**for** ① 「～のために」 ② 「～にとって」

① Tom sang **for** her. (トムは彼女のために歌った)

② That's easy **for** you. (それはあなたにとってやさしい)

**with** ① 「～といっしょに」 ② 「(道具で)」 **with** a knife (ナイフで)

**without** 「～なしで」

She drinks coffee **without** sugar.

(彼女は砂糖なしでコーヒーを飲みます)

3の答 → **by** → 「(乗り物)で」は **by** で表す。

【そのほかの「場所」を表す前置詞】

**for** 「～へ向かって」

for Japan

(日本へ向かって)

**through** 「～を通過して」

through the park

(公園を通過して)

**along** 「～にそって」

along this street

(この通りにそって)

**across** 「～を横切って」

across the street

(通りを横切って)

### もっとくわしく

前置詞は、あとの名詞・代名詞といっしょになって、まとまった意味を表し、その文の動詞を修飾するが前の名詞を修飾することもある。

He started **for** Japan.  
動詞 ↑

(彼は日本へ向けて出発した)

A letter **for** you, Tom.  
名詞 ↑

(トム、君への手紙だ)

前の名詞を修飾するときは、「～の」というように訳し方をくふうする。

同じ前置詞が違いう意味を表す場合があるので注意しようね。



# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.22

① 日本文の意味を表すように、( )内から適当な前置詞を選びなさい。

- (1) アメリカでは9月から学校が始まります。  
School begins (in, on, at) September in America.
- (2) 土曜日は体育の授業がありません。  
We don't have a P.E. class (in, on, at) Saturday.
- (3) 3日間雨がやみませんでした。  
It didn't stop raining (for, by, after) three days.
- (4) 彼はけさ5時30分に起きました。  
He got up (in, on, at) five thirty this morning.
- (5) ミカは10時までにはここへ来るでしょう。  
Mika will come here (by, before, until) ten o'clock.

② 絵の内容を表すように、下から前置詞を選び \_\_\_\_\_ に入れなさい。

- (1) My house is \_\_\_\_\_ the hill.
- (2) I am \_\_\_\_\_ the house.
- (3) The house is \_\_\_\_\_ the sun.
- (4) Birds are flying \_\_\_\_\_ the house.



over on under in

③ 日本語の意味を表すように、\_\_\_\_\_に適当な前置詞を入れなさい。

- (1) あなたのために → \_\_\_\_\_ you
- (2) 彼らといっしょに → \_\_\_\_\_ them
- (3) バスで → \_\_\_\_\_ bus
- (4) 放課後 → \_\_\_\_\_ school
- (5) その国について → \_\_\_\_\_ that country
- (6) ついに → \_\_\_\_\_ last
- (7) 鉛筆で → \_\_\_\_\_ a pencil
- (8) ~を待つ → wait \_\_\_\_\_
- (9) ~が得意だ → be good \_\_\_\_\_
- (10) ~の前に → \_\_\_\_\_ front \_\_\_\_\_

## HELP

① 時を表す in, on, at は次のように使い分ける。

**in** ...月, 季節, 年  
**on** ...曜日, ある1日  
**at** ...時刻

(5)「10時までには」は、10時という「期限」を表すから **by** を使う。「10時までずっと待つ」と言うときは **until** または **till** を使う。

### 単語

**P.E.**(physical education の略) 体育

② 鳥は家の上を飛んでいるから、**over** (～の真上に、～を越えて) を使う。

### 単語

**hill** 丘

③ (3)(7)「(乗り物)で」, 「(道具)で」のちがいに注意。日本語では同じ「～で」だが、英語では「**by + 手段**」, 「**with + 道具**」と使い分ける。(4)は「学校のあとで」と考える。(6)や(8)～(10)は連語として覚えておこう。



# 力をのばす問題



解答 → 別冊 p.22

1 日本文を参考にして、次の文に最も適当な前置詞を下から選び、\_\_\_\_に書きなさい。

- (1) He could get \_\_\_\_\_ the town at last. (彼はついにその町に着くことができました)
- (2) You must start \_\_\_\_\_ once. (あなたはすぐ出発しなければならない)
- (3) We enjoy skiing \_\_\_\_\_ winter. (私たちは冬にスキーを楽しむ)
- (4) Ken was late \_\_\_\_\_ school yesterday. (健はきのう学校に遅れました)
- (5) Children walked \_\_\_\_\_ the woods. (子どもたちは森を歩いて歩きました)
- (6) A beautiful house stands \_\_\_\_\_ the lake. (美しい家が湖の近くに建っています)
- (7) I met Namie \_\_\_\_\_ my way home from school.  
(学校から帰る途中、私はナミエに会った)

on through at near in to for

2 日本文の意味を表すように、\_\_\_\_に適当な1語を入れなさい。

- (1) 多くの車が日本でつくられています。  
A \_\_\_\_\_ cars are made in Japan.
- (2) だれがその金魚の世話をするのですか。  
Who takes \_\_\_\_\_ the goldfish?
- (3) これがタイで最も有名な公園の1つです。  
This is \_\_\_\_\_ the most famous \_\_\_\_\_ in Thailand.

3 日本文の意味を表すように、( )内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) 彼は社会の先生です。  
(is, of, teacher, a, social studies, he).  
\_\_\_\_\_
- (2) 彼の父親は朝から晩まで一生けんめい働いた。  
(from, worked, night, till, his father, hard, morning).  
\_\_\_\_\_
- (3) あなたは彼らの助けなしにそれができますか。  
(it, their, do, help, you, can, without)?  
\_\_\_\_\_

## HELP



- 1 前置詞を使った連語に注意。(1)「動詞+前置詞」、(4)「be 動詞+形容詞+前置詞」の連語だ。
- 2 (2)「金魚」goldfish (3)「～の1つ」は **one of + 複数名詞**。だから「公園」は複数形になる。  
(3) Thailand [táilənd タイランド] 「タイ」
- 3 (2) **from ~ till ...** (～から…まで) を使う。(3)「～なしに」は without ~ を使う。

# 定期テスト予想問題6

時間 20分  
解答 → 別冊 p.22

得点	/ 100
----	-------

① 次の文の( )内から正しいものを選びなさい。

〈18点 = 2点 × 9〉

- (1) We can swim in the sea (in, on, at) summer.
- (2) The girl will come (and, but, if) she is not busy.
- (3) English wasn't (understood, understanding, understands) in Japan in those days.
- (4) We must read both this book (and, but, or) that book.
- (5) Will you wait (of, for, to) me at the station?
- (6) (Do, Does, Is) the dog loved by everyone?
- (7) He couldn't sleep (in, on, at) night.
- (8) I met my friend (in, between, on) my way to the library.
- (9) (Though, But, Because) he was rich, he wasn't happy.

② 次の文を日本語になおしなさい。

〈12点 = 3点 × 4〉

- (1) Were the dishes washed by Kathy?  
( )
- (2) My sister was watching TV when I came home.  
( )
- (3) A lot of computers were made last year.  
( )
- (4) I want to visit either Kyoto or Nara.  
( )

③ 次の文が受け身なら能動態に、能動態なら受け身に書きかえなさい。

〈28点 = 4点 × 7〉

- (1) Tom opens the store.  
\_\_\_\_\_
- (2) The vase wasn't broken by Mike.  
\_\_\_\_\_
- (3) She looked after the girl for five years.  
\_\_\_\_\_
- (4) Is English spoken in that country?  
\_\_\_\_\_
- (5) Did Nancy bring many books?  
\_\_\_\_\_
- (6) The man gave me a lot of apples. (2通りの文に)  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



4

例にならって、次の英文の下線部のまちがいをなおしなさい。

〈14点 = 2点 × 7〉

- 例 He lived here in two years. in → for
- (1) No one believed his story in that time. in → \_\_\_\_\_
- (2) He was surprised to the news. to → \_\_\_\_\_
- (3) The girl sat between Masao to me. to → \_\_\_\_\_
- (4) I am interesting in math and science. interesting → \_\_\_\_\_
- (5) I must do my homework till next Monday. till → \_\_\_\_\_
- (6) The mountain was covered by snow. by → \_\_\_\_\_
- (7) Because rain, we had to stay at home. rain → \_\_\_\_\_

5

次の文を英語になおしなさい。

〈16点 = 4点 × 4〉

(1) これらの写真は鍵によってとられたのですか。

---

(2) 私たちは放課後テニスをするつもりです。

---

(3) 11歳のときに彼はアメリカへ行きました。

---

(4) カナダでは英語とフランス語の両方が話されています。

---

6

〈リスニング問題〉 28 Kota が英語の授業で行ったスピーチを聞いて、その内容について (1)~(3)の質問に対する最も適当な答えを、ア~エの中から1つずつ選びなさい。

〈12点 = 4点 × 3〉

- (1) ア Two hours ago.  
イ Last Sunday.  
ウ Last year.  
エ Two years ago.
- (2) ア Because Mr. Smith played basketball very well.  
イ Because Kota spoke English well.  
ウ Because Mr. Smith remembered Kota.  
エ Because Mr. Smith went to the library.
- (3) ア To watch movies with Mr. Smith.  
イ To talk with Mr. Smith.  
ウ To speak English with a lot of people.  
エ To go to many different countries.

# わかるゼミ7

## S, V, O, Cと句・節

### 英文はたったの5種類

どんな英文でも、たいてい主語と動詞がある。英文の構造、つまり文の骨組みを、英文ひとつひとつについて調べて共通なものをまとめると、じつにさまざまに見える英文も、たった5つのタイプに分類することができる。

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| ① S + V         | ← S + V だけ                 |
| ② S + V + C     | } ← S + V のあとに C か O       |
| ③ S + V + O     |                            |
| ④ S + V + O + O | } ← S + V のあとに O 2つか、O と C |
| ⑤ S + V + O + C |                            |

どんな複雑な英文でも、この5つのタイプのどれかになるのだが、ここではどんな語(句)がS, V, O, Cになるかを調べて整理しておく。

### S, V, O, Cになる語

S, V, O, Cは英文の骨組みとなる要素、つまり文の要素だ。文の要素S, V, O, Cはどんな語からできているのだろうか。

**必修文例**

Masako looks very happy.  
 S(名詞) V C(形容詞)  
 (正子はたいへん幸せに見えます)

My father bought a new watch.  
 S(名詞) V O(名詞)  
 (私の父は新しい時計を買いました)

She told me the way to the library.  
 S(代名詞) V O(代名詞) O(名詞)  
 (彼女は私に図書館への道を教えてくださいました)

上の3つの文で下線をつけたのは、文の要素S, V, O, Cを修飾している語句だ。だから、S, V, O, Cになっている語だけを見ると、次のようなことが言えるだろう。

- SとOは、名詞・代名詞でできている。
- Vは言うまでもなく動詞。
- Cは形容詞か(上の例文にはないが)名詞・代名詞でできている。

#### 文の要素の記号

- S = 主語 (～は  
～が)
- V = 動詞 (～する  
～である)
- O = 目的語 (～を  
～に)
- C = 補語 (いろいろな訳  
し方をする)

#### もっとくわしく

①SV～④SVOOについてはp.58以降を復習しよう。⑤SVOCはp.118以降で学ぶ。



#### もっとくわしく

文の要素S, V, O, Cを修飾する語は、左の例文からもわかるように、newのような形容詞、veryのような副詞、myのような代名詞の所有格、aやtheの冠詞だ。このうち形容詞だけは左の例文のhappyのように文の要素Cになることがある。



## 名詞句・名詞節は文の要素になる

「SとOは、名詞・代名詞できている」とわかったが、次の文ではOが長い語句になっている。

Masako wanted to buy a new watch.

S(名詞) V O(名詞句)

(正子は新しい時計を買いたかった)

to buy a new watchは「新しい時計を買うこと」という意味で、to buyは名詞的用法の不定詞だね。つまり、to buy a new watchの5語で名詞と同じ働きをしている。名詞と同じ働きをする語の集まりを**名詞句**と言い、この名詞句が上の文の**要素O**になっているのだ。だから、もっと正確には「SとOは、名詞・代名詞や名詞句できている」と言うべきだろう。

そこで、いよいよこれから新しい**範囲**に入るのだが、それはどういうことかと言うと、名詞・代名詞や名詞句だけでなく、**名詞節**も文の**要素O**になるということなのだ。

名詞句とか名詞節とか、話がややこしいが、しんぼうしてほしい。句も節も、**2語以上が集まって名詞や形容詞や副詞などと同じ働きをするもの**を言うが、節のほうは**文の形をふくんだ語の集まり**だ。

節というのは何も目新しいものではない。次のような文ですでに学んでいるはずだ(⇒ p.102)。

Masako uses this racket when she plays tennis.

S(名詞) V O(名詞) (S) (V) (O)

(正子はテニスをするとき、このラケットを使います)

この文のwhen she plays tennisの部分にはS + V(=主語 + 動詞)があって、「彼女がテニスをするとき」という意味のかたまりになっている。これが**節**だ。このwhen she plays tennisという節は、副詞と同じ働きをしていて、動詞usesを修飾しているので、**副詞節**と呼ばれる。たいていの節は、上の文の副詞節のようにwhenのような**接続詞**がはじめにくっついている。これから学ぶ**名詞節**も、thatという接続詞を使うのが基本だ。

長い目的語に  
気をつけよう。



### ここに注意

名詞的用法の不定詞は、**O**になるだけでなく、**S**になったり**C**になったりすることもできる(⇒ p.83)。不定詞の用法をよく復習しておこう。

### 得点アップのコツ

句について整理しておこう。

- **名詞句**…名詞的用法の不定詞、動名詞は名詞句をつくる。「疑問詞 + 不定詞」も名詞句(⇒ p.122)。
- **形容詞句**…形容詞的用法の不定詞のほか、過去分詞や現在分詞も形容詞句をつくる(⇒ p.135)。また、前ページの例文のthe way to the library(図書館への道)のような「前置詞 + 名詞[代名詞]」も形容詞句になる(⇒ p.107)。
- **副詞句**…副詞的用法の不定詞は副詞句をつくる。「前置詞 + 名詞[代名詞]」の形も多い。

### ここに注意

副詞・副詞句・副詞節は、**S, V, O, C**のどの要素にもならない。だから5つの文のタイプを見分けるときは、これらを取り去って考えることがコツだ。

# 22 S + V + O [= that 節]



## 問題にチャレンジ

- I **think** (this, that, it) she is Nancy's sister.  
私は彼女がナンシーの姉(妹)だと思う。
- Tom can play the guitar well. I **know** it.  
トムは上手にギターを弾ける。私はそれを知っている。
- I **hope** Saori will come here soon.  
私は沙織がすぐここに来ればいいと思う。

問 ( ) 内から適当な語を選べ。

→ 2

問 that を使って1つの文にせよ。

→ 2

問 hope を過去形にして全文を書きかえよ。

→ 3

## 1 接続詞の that

接続詞の that は、「that + S + V ~」のように、文のはじめにつけて「~ということ」と訳す。

文 = S + V ~	→	that + S + V ~
he is kind (彼は親切だ)	→	that he is kind (彼は親切だということ)
she can sing well (彼女は上手に歌える)	→	that she can sing well (彼女は上手に歌えるということ)

このように、文(S + V ~)の前に that をつけると、that 以下が名詞と同じ働きをする節、つまり**名詞節**にかわる。これを**that 節**と言う。

**ポイント** 接続詞の **that** { 「~ということ」と訳す  
that + S + V ~ は **名詞節**  
that 節

## ここに注意

that は「あれ」(代名詞)とか「あの」(形容詞)の意味ではおなじみの単語だ。しかし、ここで学ぶのは**接続詞の that**。だから、その働きも訳し方もこれまでの that とはまるっきりちがう。

接続詞については、p.102 ~ 103 を復習しておこう。ただし、そこで学んだ when, if, because などの接続詞は、文のはじめについて副詞節をつくる働きをした。

when + S + V ~  
副詞節

## 2 I think + that 節

I know it. の文の it のかわりに、that he is kind という名詞節を入れてみよう。  
代名詞

I know it.	(私は それを知っている)
S V O (代名詞)	
I know <b>that he is kind</b> .	(私は 彼が親切だということを知っている)
S V O (名詞節)	

どちらも S + V + O の文(第3文型)で、O(目的語)はふつう名詞・代名詞だが、**接続詞 that** で始まる**名詞節**、つまり **that 節** も文全体の O(目的語)になる。



I hope **that** he will come soon.

(私は、彼がすぐ来る(だろうという)ことを望む)

She **thinks that** he is happy.

(彼女は、彼が幸せだと(いうことを)思う)

that の訳し方の基本は「～ということ」だが、日本語として不自然になるときは「～すること」や「～と」など、少しくふうして訳そう。

なお、この **that** は省略されていることも多いので注意しよう。that が省略されても、文の意味は同じだ。

→ I hope he will come soon.

→ She thinks <sup>that を省略</sup> he is happy.



I know <sup>省略できる</sup> (that) + S' + V' ~. (私は S' が V' する **と** **いうこと**を知っている)

S V O(名詞節)

1の答 → that → I think + that 節の形にする。

2の答 → I know that Tom can play the guitar well. (私はトムが上手にギターを弾けるということを知っている) → 2つの文の意味を考えると、I know it. の it が前の文全体を指しているので、it のかわりに that Tom can play the guitar well を入れる。

### 3 時制の一致

I think **that** the book **is** interesting.

S V O

(私はその本がおもしろいと思う)

この文には think と is の2つの動詞があるが、think は文全体の骨組みになっている V(動詞)、is は that 節の中にある動詞だ。今、think を過去形にすると、どうなるだろうか。

I think **that** the book **is** interesting.

I **thought** **that** the book **was** interesting.

過去 過去

think が過去形になれば、それにつられて that 節の is も過去形になる。これを**時制の一致**と言う。文の骨組みになる V(動詞)が過去形になれば、that 節の動詞も過去形にしなければならない。

3の答 → I hoped Saori would come here soon. (私は沙織がすぐここに来ればよいと思った) → that を省略した文で、hope が過去形になれば、that 節の will come も過去形にする。

助動詞 will の過去形は **would** だよ。要注意だ!!



### Q&A

Q I think that he is happy. のような文は、1つの文に2つの動詞があるんですね。

A 「1つの文に動詞は1つ」のルールを覚えていますか(⇒ p.80)。動詞が2つあるということは、文も2つあるということです。ただ、that の後ろの文は that 節(名詞節)になってしまっていて、文全体の動詞は think だけです。

#### 文全体

S + V + O [= that 節]

↑  
that + S' + V'  
文

### もっとくわしく

V(動詞)が現在形であれば、that 節の動詞は現在・過去・未来のどの形を使ってもよい。

I think he is busy.

現在 現在

(私は彼が忙しいと思う)

I think he was busy.

現在 過去

(私は彼が忙しかったと思う)

I think he will be

現在 未来

busy tomorrow.

(私は彼があす忙しいだろうと思う)

一般的な真理で「時間に関係のない事実」を述べるときは、時制の一致をとまわず、現在形のままでよい。

We learned that the moon

過去

goes around the earth.

現在

(私たちは月が地球のまわりを回っていることを学んだ)

# 基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.24

① 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) I didn't know that he was busy.  
私は( )を知らなかった。
- (2) Masato found that the book was interesting.  
まさとは( )がおもしろい( )
- (3) He said that she would come with us.  
彼は( )と言った。
- (4) We hope you will pass the examination.  
( )すればいいと思う。
- (5) I think that she likes cats.  
( )

② 次の文を **that** を使って1つの文に書きかえなさい。

- (1) She is a good teacher. I know it.  
\_\_\_\_\_
- (2) We should share the housework. I think so.  
\_\_\_\_\_
- (3) It will snow tomorrow. I hope it.  
\_\_\_\_\_
- (4) She couldn't sleep well. She said so.  
\_\_\_\_\_

③ 次の文の下線部を過去形にして、全文を書きかえなさい。

- (1) I think this bike is Tom's.  
\_\_\_\_\_
- (2) She hopes she will be a designer.  
\_\_\_\_\_
- (3) The man doesn't think it will rain.  
\_\_\_\_\_
- (4) He often says that he wants to go to space.  
\_\_\_\_\_

## HELP

① (1)~(4) S + V + that  
～の文は、文の主語(S)を「は」、thatの次の主語を「が」と訳すのが基本。  
**I think (that) she** ～。  
(私は彼女が～と思う)  
(3) would = willの過去形。  
(4) examination 「試験」  
(5) 文の主語がIのときはそれを訳さないほうが日本語として自然なこともある。

② I know that ～、や I think that ～、などの文をつくる。(1)(3)ではitが、(2)(4)ではsoが前の文の内容を指している。

### 単語

**should**

～すべきである

**share** [ʃeə シェア]

分担する

**housework** 家事

③ 文の動詞が過去ならthatのあとに過去だ。  
(時制の一致)

**S + V + that + S' + V'**

**V**が過去なら**V'**も過去

(1)(2)(3)は、thatが省略された形。

(2)(3)は助動詞 willがあるので、それを過去にする。

**will** + 動詞の原形



**would** + 動詞の原形

### 単語

**designer** [dizáinə]

デザイナー

デザイナー

**space** 宇宙